

太陽と太陽系

1 天体の重要語 () に適当な語句入れなさい。

- ① () 太陽を中心として、そのまわりを公転しているさまざまな天体の集まり。
- ② () 太陽のように、自ら光り輝く天体。
- ③ () 地球のように、恒星（太陽）のまわりを公転している天体。
- ④ () ③のうち、地球の内側を公転する天体。明け方か夕方にしかなることができず、満ち欠けする。
- ⑤ () 火星と木星の間にある、数多くの小さな天体の集まり。
- ⑥ () 海王星より外側を公転する、1000個以上の小さな天体の集まり。
- ⑦ () 地球のまわりを公転する月のように、惑星のまわりを公転している天体。
- ⑧ () 太陽のまわりを細長いだ円軌道で公転している天体。氷や細かなちりが集まってできている。
- ⑨ () おもに⑧から放出されたちりや小さなかけらが地球の大気にぶつかって、燃えて明るく光ったもの。
- ⑩ () 太陽系を含む、約2000億個の恒星の集団
- ⑪ () ⑩のさらに外にある、恒星の大集団。宇宙に無数にある。

2 太陽系の惑星

① () ...
二酸化炭素などの厚い大気におおわれ、表面の温度は500°C近い。自転は地球と反対向きで、その速度はおそい。地球からは、明け方か夕方に見える。

② () ...
太陽に最も近い惑星。大気が非常にうすく、昼夜の温度差が大きい。表面は月面のようにクレーターがある。明け方か夕方にみえる。

③ () ...
二酸化炭素を主成分とするうすい大気がある。表面は赤茶色の岩石におおわれ、赤く輝いて見える。水があった跡があり、生命がいた可能性もある。

惑星はすべて同じ方向に、ほぼ同じ平面上を公転している。

④ () ...
太陽系最大の惑星。水素やヘリウムなどのガス（気体）できている。高速で自転し、しま模様や大赤斑がみられる。

⑤ () ...
2番目に大きい惑星。氷の粒でできた巨大な環と多くの衛星をもつ。